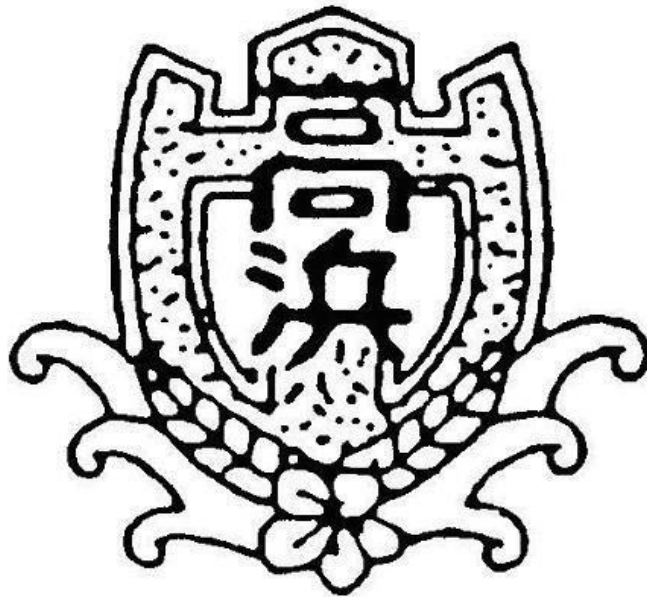


生活のしおり

千葉市立高浜中学校

目 次

校章の由来	1
校歌	2
本校教育目標	3
望ましい生徒の姿に近づけるよう努力しあおう！	4
服装規定	6
日課時程表	8
生徒会組織及び規約	9



校章の由来

高浜地区は稲毛海岸を埋め立てて造成された全くの新生団地であり、高浜中はその一角に新住民の願いを集めて昭和54年に開校された。従って、その住民の、とりわけ生徒の願いも校章に象徴させたいと思った。

はじめに、全校生徒・全職員から図案を募集した。それらの図案に共通した願望と地区の特性・特色を集約して、美術担当の山口正生教諭が、原図としてまとめあげたのである。

校章は波と夾竹桃と洲とを配し全体として曲線を基調としている。基底部に対照的な波を配したのであるが、これは、広大な太平洋に続く高浜（稲毛の海岸）を表すと同時に、右方、三つの波は教育の基幹である「知育」「徳育」「体育」を、左方には「信義」「礼儀」「協和」（教育目標四項）が本校のねらう教育の根本であることを示している。また波は外へ向かって躍動前進（ホップ・ステップ・ジャンプ）しようとする行動と心情を象徴している。

「高浜」という文字のバックに中学校の「中」を図案化した。まろやかな曲線には円満な生徒の育成の希求が表現されており、またその図柄は高浜の「洲」を表している。「中」の突端は生徒がどんな困難にあっても自己の理想に向かって高く突き進むことの願いを込めたものである。

最後に高浜中をやさしく抱き支える千葉市を、市花である夾竹桃の葉と花を配することによって表したものである。

学校教育目標

「創造的な知性と感性を磨き、心豊かに、
たくましく生きる生徒の育成」

学校経営の基本方針

- ・誇りある学校
- ・安心できる学校
- ・規律と創造性のある学校
- ・キャリアを育成する学校
- ・地域に根付く学校

生徒力の向上

- ・自主（自ら学び、考え、基礎学力のある生徒）
- ・自律・自律（適切な判断・行動のできる生徒）
- ・協調（勤労・奉仕に取り組める生徒）
- ・責任（勤労・奉仕に取り組める生徒）
- ・創造（心身を鍛え、粘り強く挑戦する生徒）

望ましい生徒の姿に近づけるよう努力しあおう！

① 登校（昨日より進歩ある今日を）

- 1 1日の目標をもち、明るく元気よく登校しよう。
- 2 生徒同士・先生方にあいさつや会釈をしよう。
- 3 服装・持ち物・頭髪・提出物などの確認をして登校しよう。
- 4 身分証明書は、常に持ってくるようにしよう。
- 5 定められた通学路を利用し、交通ルールやマナーを守ろう。

② 始業前（何事も最初が肝心）

- 1 専門委員会や学年委員会、学級の係、日直などの活動を確認し、その準備をしよう。
- 2 学習用具を机の中に、カバン等をロッカーに入れ、始業準備をしよう。
- 3 朝読書のための本を用意しよう。

③ 朝の会（第1歩が1日を決める）

- 1 気持ちを落ち着けて、10分間の読書を楽しもう。
- 2 学校生活への意欲をもち、元気よく互いにあいさつをかわそう。
- 3 諸連絡に関心をもって聴き、委員会や係が行う点検活動等に協力しよう。
- 4 欠席・遅刻・早退・見学・健康状況等の連絡は、保護者がすぐ一着で行います。

④ 授業（結果よりもその過程が大切、みんなで学びを深めよう）

- 1 チャイムの2分前に授業に必要なものを準備し、着席しよう。
- 2 学習用具や宿題を忘れないようにしよう。
- 3 離席や私語をせず、集中して学習しよう。
- 4 発表は、先生に指名されてから起立して行おう。
- 5 友だちや先生の話は、最後まで真剣に聴こう。
- 6 設備・用具・器具の使用にあたっては、必ず許可を得て大切に扱おう。
- 7 授業に遅れたり、教室等を離れたりする場合は、教科の先生から許可を得て、静かに行動しよう。
- 8 展示物・掲示物等には、手を触れないで大切にしよう。
- 9 用具や器具の整理整頓、後始末をきちんとすみやかに行おう。

⑤ 休み時間（遊びだけでなく、準備の時間）

- 1 次の授業の開始2分前までに、教室移動、更衣、学習準備を完了し、着席しよう。
- 2 教室移動は、静かに行おう。
- 3 教科係や日直は、黒板を拭き、大型テレビや授業に必要な道具等の準備を行おう。

⑥ 給食（健康の源）

- 1 当番は、白衣を正しく着用しよう。
- 2 給食の運搬、配膳、片付け、返却は互いに協力して行い、廊下、教室等を汚さないようにしよう。
- 3 4時間目の授業が終わったら、すみやかに手を洗い、静かに配膳しよう。
- 4 「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつは、みんなでしっかり行おう。
- 5 放送を聴き、マナーを守り、静かな中にも楽しい気持ちで食事をしよう。
- 6 給食終了のチャイムが鳴るまでは、教室から出ないで過ごそう。

7 清掃（環境は人をつくる）

- 1 清掃は、ジャージまたは体操服で行おう。
- 2 私語を控え、協力して熱心に取り組もう。
- 3 清掃用具等を大切に扱おう。
- 4 ゴミの処理、用具の整理、戸締りも時間内に終わらせよう。

8 昼休み

- 1 昼休みは、グラウンドを使用できるので、安全に留意して元気に遊ぼう。
- 2 雨天等でグラウンドが使用できない時は、室内で落ち着いて過ごそう。
- 3 図書室や学級文庫を利用し、読書や学習に役立てよう。
- 4 予鈴が鳴ったら、授業の場所へ移動し、学習の準備を済ませよう。

9 自己学習タイム

- 1 それぞれが必要な学習用具を準備し、自席に着席して、私語なく学習しよう。
- 2 授業の振り返りやドリル等、自分に合った（必要な）学習を進めよう。
- 3 自己学習タイムで行った学習を家庭学習につなげよう。

10 帰りの会（更によい明日に向けて）

- 1 個人・学級で一日を振り返り、改善点を話し合おう。
- 2 授業等の連絡を確実にしよう（しっかり伝え、しっかり聴き取る）。
- 3 クラスで協力して、一日の締めくくりをしよう。

11 放課後・下校

- 1 日直は、室内整理、戸締り（カーテンを束ねる）、消灯を確実にしよう。
- 2 専門委員会や学年委員会、学級の系の活動は、完全下校時刻の15分前までに終了し、片付けを済ませてから下校するようにしよう。
- 3 授業の質問や悩みの相談があるときは、先生に相談しよう。
- 4 寄り道をしたり、立ち止まって話をしたりせずに、まっすぐ帰宅しよう。

12 厳守すること

- 1 登下校時（再登校を含む）は、制服を着用しよう。
※体操服登校が認められる時期があります。
※部活動を行うための再登校や休日の部活動では、この限りではありません。
- 2 公共物、友だちの物、自分の物は、大切にしよう。
- 3 学習や学校生活に不必要な物は持って来ないようにしよう。
- 4 非常時以外には、ベランダや非常階段へ立ち入ったり、非常扉・防火シャッター等の非常用設備や用具に触れたり、使用したりしないようにしよう。
- 5 授業以外で、特別教室や公用物を使用する場合は、必ず担当の先生の許可を得よう。
- 6 来校者の方へ、気持ちよくあいさつをしよう。
- 7 定期テストの1週間前から定期テスト終了までは、職員室の入室ができません。
- 8 生徒会総務や専門委員会、学年委員会で決まったことに協力して取り組もう。

令和5年度 服装等の規定について

令和4年度末に生徒会総務が「学校レベルアップアンケート」を実施し、生徒から服装等の規定についての意見を募り、その意見をもとに生徒会総務が「社会に出ても恥ずかしくないように」と社会生活に即した視点で話し合いを行い、いくつかの規定の変更を学校に提案してくれました。

高浜中学校では、その提案を元に会議を行い、いくつかの服装の規定を変更することとしました。以下に変更点も含めた令和5年度版の服装の規定を掲載します。

また、今後も定期的に生徒会総務が「学校レベルアップアンケート」を行う予定です。そのアンケートをもとに規定等については生徒とともに考えていきます。年度内の変更がある場合につきましては、「生徒指導通信」や「すぐーる」で発信していきますので、ご確認いただければと思います。

服装等の規定 ※変更および追加点

男女共通

カバン	・学校指定のバック(通年) ※部活動で指定以外のバックを使用する場合は、チームで統一されたもの。あるいは各部活動の活動を行うのに適切で、顧問から許可を得たものとする。
名札	・登校後に、教室で、左胸ポケットにつける。下校前に教室の保管場所に置いて帰る。(通年)
靴	・運動靴(体育の授業にふさわしいもの)。 ・上履きは学校指定の各学年カラーのもの。
靴下	・色は白、黒、紺、灰色。安全面からくるぶしがかくれるものとする。 ※キャラクター等の入った華美なデザインのものとは不可。
防寒着 *冬季限定	・冬季は、防寒のためにコートやセーター、ベストの着用を認める。(カーディガンは不可) ・コートは、スクールコート、Pコートまたはダッフルコート。(ロングコートは不可) ・コートとセーター、ベストの色は、黒・紺・灰色。 ・女子は黒タイツを着用可。 ・登下校では部活動で揃えたウインドブレーカーを着用してよい。 ※特別な対応が必要な場合(大雪など)はこの限りではありません。詳しくはすぐーるにて連絡します。
その他	・ミサンガ、アクセサリ、ピアスの着用はしない。 ・ひざ掛けの使用はしない。 ・授業に必要なものは不要物として持ち込まない。(スマホや飴・ガムなど) ※万が一、持ってきた場合は預かり、保護者に返却する。 ・身分証明書はカバン等に入れるなど携帯する。 ・夏季は華美でない帽子の着用を認める。

男子

襟	・カラーをつける。
ボタン	・校章入りボタンを使う。 ・腕のボタンもしっかりつける。
シャツ	・白のYシャツをしっかりと中に着る。(開襟シャツは不可) ※夏服期間は半袖を着用しましょう。 ・素肌ではなく、必ず下着を着用する。
頭髪	・中学生としてふさわしい髪型を心がける。整髪料は使用しない。 <u>頭髪前後左右の3つのめやす</u> ① 耳がかくれない。(横だけを極端に刈上げた不自然な髪型もやめましょう) ② <u>目にかからない。</u> ③ 襟に深くかからない。
上着・ズボン	・学校指定に限る。
襟	・カラーをつける。
ベルト	・黒・紺・茶色とし、ファッションベルトは認めない。 ※派手なバックル等も不可。

女子

頭髪	・中学生としてふさわしい髪型を心がける。整髪料は使用しない。 <u>頭髪前後左右の3つのめやす</u> ① 襟にかからない。襟よりも長い場合は <u>結ぶ(編む)</u> 。(ヘアゴムは黒・紺・茶) ② <u>目にかからない。</u> ③ 飾りを目的としたピンは使用しない。
スカーフ	・学校指定のスカーフ
セーラー服	・学校指定に限る。(夏用・冬用で異なる) ・素肌の上には着ない。必ず下着を着用すること。
スカート	・ひざがかくれる程度の長さとし、長すぎたり短すぎたりしない。

冬服(10月～4月)

夏服(5月～9月)

